

◆次期日本医師会代議員・日本医師会予備代議員を選出

◆定款施行規則ならびに開業時負担金徴収規程の一部改正につき承認決定

◇総務部◇

第141回臨時代議員会を去る3月16日（日）、当医師会館8階会議室において開催した。

冒頭、本間議長により開会宣言があり、議事録署名人（小樽市・外園光一代議員、富良野・石澤秀明代議員）を指名した。その後、長瀬会長より挨拶があった。

長瀬会長の挨拶

第141回北海道医師会臨時代議員会の開催に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

代議員の皆様には、年度末何かとお忙しい中、早朝よりお集まりをいただき有り難うございます。

また、北海道知事高橋はるみ様におかれましては、年度末、議会開催中でご多忙のところお越しいただき有り難うございます。日頃、地域医療へ多大なご配慮をいただき感謝申し上げます。後ほどご挨拶をいただきたいと存じますので宜しくお願い申し上げます。

本日の代議員会は、平成25年度の事業および会計の中間報告を行ったのち、まず、日本医師会の代議員の選出を委託されたことによる、日医代議員および予備代議員の選出をお諮りいたします。

この度は日本医師会会員の減少により、13名から1名減少となり、各々12名を選出いただくこととなっております。

その後、定款施行規則の一部改正と開業時負担金徴収規定の一部改正をご審議いただきます。

さらに、昨年4月1日より非営利の一般社団法人となり、制定された新規程に従って、平成26年度の事業計画ならびにそれに基づく予算のご報告をし、ご意見をいただくこととなっております。

そして、昼食休憩ののち、当面の医療政策を報告し、代表ならびに一般質問をいただきます。活発なご討議をお願いいたします。

さて、3年前の北海道医師会代議員会の直前に、あの記憶にも生々しい東北地方の太平洋岸一帯の地

震と津波による大災害が発生、大混乱を引き起こしました。その復興も道半ばにあり、被災者の多くは、まだ窮屈な生活を強いられております。

いま一つ気になるのは、災害後の気象異常で、想定外、数十年ぶり、観測史上初めてといった雪害、風害、大雨被害、異常高温の連続、そして南海トラフ地震、津波や富士山噴火予測などです。日頃からの備えが大切です。

先頃26年度の国家予算が成立しました。一昨年末に民主党政権から自民政権に政治の主導が移り、安倍内閣の進める経済政策が効を奏し景気が回復基調にあります。政府の脅しの感もありますが、絶えて久しかった春闘によるベースアップが復活。懐かしい言葉をテレビ、新聞で目にし、皆様、一昔前を懐かしく思い出されたのではないのでしょうか。しかし、4月から消費税が上がります。この景気がバブルのようにはじけ消滅しなければよいが、と心配です。

今年は恒例の診療報酬改定の年で、既に改定内容が公表され、これから各地で説明会が開かれます。期待を打ち砕くマイナス改定の上に、加えて医療機関には消費税負担が重くのしかかってきます。改定は2025年の高齢化のピーク到来を見据え、前回改定に引き続き地域完結型の医療、介護の連携での地域包括ケアシステムの構築で、在宅療養を目指しています。診療報酬改定の内容には多くの問題が指摘され、当分の間激しい議論が交わされそうです。

北海道医師会では、超高齢社会の進行の中で、適切な医療・介護が行える環境作りを行政や医療関係者で築いていきたいと考え、行動を始めています。これから立案しなければならない地域医療ビジョンについても官民共同で勉強中です。

女性医師をはじめとする勤務医の働く環境整備を進め、医師不足解消をはかる努力も続けています。多くの病院の先生方の意識も高まってきていると感じています。

広域な北海道の救急医療にとって、欠かせないのは交通手段の確保です。ドクターヘリの整備も進



長瀬会長挨拶



高橋はるみ知事の来賓あいさつ

み、活躍しているのは皆様ご存じの通りです。この他にヘリの欠点を解決すべく小型ジェット機を活用する試験運行を行いました。相当の効果を見、現在国内に本格運航の要請を働きかけています。その他、解決の容易でない医療問題が山積しています。

この後、事業計画と予算案をお示しし、北海道医師会としての事業の方針と、それを遂行するに当たっての予算についてご説明を申し上げます。

北海道医師会が、問題解決に向けて力を最大限に発揮するためには、会員皆様方の絶大なご協力、後押しが必要です。ご支援のほど心からお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶といたしますと述べ、続く来賓挨拶では、高橋はるみ北海道知事より祝辞をいただいた。



平成25年度事業中間報告ならびに会計報告、監査報告の後、議案審議に入り、議案第1号「日本医師会代議員選挙の件」および議案第2号「日本医師会予備代議員選挙の件」について、次期の日医代議員・予備代議員を決定した（選挙結果は、前号掲載の「北海道医師会告示第104号」のとおり）。

議案第3号「平成25年度会費減免に関する件」については、申請のあった高齢免除申請者1,011名、疾病による一般免除申請者14名、その他、理事会において認められた研修医の会費減免（半額）申請者12名の会費減免について、理事者提案のとおり承認された。

さらに、議案第4号「定款施行規則の一部改正に関する件」、議案第5号「開業時負担金徴収規程の一部改正に関する件」については、理事者側からの説明の後、提案どおり承認された。

次いで、平成26年度事業計画ならびに平成26年度予算について、理事者からの報告を承認した。

その後、当面の医療政策について、理事者より報告の後、代表質問ならびに一般質問を受け、理事者からそれぞれ答弁を行った。

◇代表質問◇

1. 上村利彦代議員（道北ブロック）：
「北海道全域の医療ICT連携について」
（答弁：伊藤常任理事）
2. 阿久津光之代議員（後志ブロック）：
「障害者支援施設での配置医師の諸問題」
（答弁：橋本常任理事）
3. 松村茂樹代議員（中央ブロック）：
「医療における消費税率10%時への対応について」
（答弁：岡部常任理事）

◇一般質問◇

1. 宮崎誠一代議員（札幌市医師会）：
「日医会員数の減少傾向に対する対応について」
（答弁：長瀬会長）
2. 高橋文雄代議員（札幌市医師会）：
「在宅医療の適正化問題について」
（答弁：橋本常任理事）
3. 荒木啓伸代議員（札幌市医師会）：
「地域包括診療料、および地域診療包括加算について」
（答弁：橋本常任理事）

最後に、長瀬会長より閉会の挨拶が行われ本代議員会の全日程を終了した。

〈事業計画・予算関係、定款施行規則、質疑応答等は、順次当会ホームページに掲載予定〉